

第2学年1組 算数科 「かけ算」

学習活動・予想される児童の反応

本時見られた深く学び続ける子どもの姿

1 前時まで学習を想起し、本時のめあてをつかむ。

○ 2の段、5の段の九九のつくり方を振り返る。

絵図
(○○○)

言葉
(3つついくつぶん)

式
($3+3+3\cdots$ $3\times\Box$)

めあて 3のだんのつくり方をかんがえよう。

2 3の段のつくり方を考える。

○ 見方・考え方の見通しを立てて、3の段の九九を構成する。

絵図
(○○○○)

言葉
(3つついくつぶん)

式
($3+3+3\cdots$ $3\times\Box$)

(○○○)

3つつ1つぶん

$3\times 1=3$

(○○○) (○○○)

3つつ2つぶん

$3+3$

$3\times 2=6$

(○○○) (○○○)

3つつ3つぶん

$3+3+3$

$3\times 3=9$

○ 3の段の九九のつくり方を交流し、きまりを見出す。

・ 3の段の九九の答えは、どこも3ずつ増えている。

・ ふえた3は、かけられる数である。

3のだんのきまりは、かける数が1ふえるとかけられる数だけ

【3ずつ】ふえる。

3 3の段の九九の続き（チャレンジ問題）に挑戦する。

○ 見方・考え方を選んで、 3×11 の問題を解いて交流する。

(ICT・自己調整)

絵図を使って数える。



さくらんぼ

$$\begin{array}{r} 3 \times 11 = 33 \\ \quad \quad \quad \uparrow \downarrow \\ \quad \quad \quad 9 \quad 2 \end{array}$$

たし算を使って計算する。

【同数累加】

($3+3+3\cdots$)



どのやり方が
かんたんかな？

かけ算のきまりを使って考える。

$$3 \times 9 = 27$$

$$3 \times 10 = 30$$

$$3 \times 11 = 33$$

+3

+3

4 本時学習を振り返り、まとめる。

○ 自分の学びを振り返り、まとめを書く。

・ 3のだんも、ほかのだんと同じようにきまりがつかえた。

・ 4のだんも、早くやってみたい。きまりをつかうとかんたん

○ 前時と同じ学習の流れにしたことで（2・5のだん）本時のめあてを各自で立てる子どもの姿があった。またこれまでの学習を生かして3ずつ増えるのではないかと見通しをもつことができた。

○ おはじき（具体物）を並べていくことで同数のまとまりをとらえることができ3個のいくつ分を求める場面であることを意識させることができた。

○ 個に応じてノートの工夫をしたことで自分の方法できまりを見つける姿があった。

T なぜ3のだんは答えが3ずつ増えていくのかな。

C1 おはじきを3こずついれて（ふえて）いったから

C2 3こずつのおはじきが1つふえていくから

C3 1つ分のおはじきが3こずつだから

○ 3×11 のチャレンジ問題の場を設定することで、自己選択・自己決定することができ効果的に考えを作ることができた。

ICTを使い友達の考えと比較することでいろいろな方法があることに気づき他の方法でも学習を進めていこうとする姿が見られた。（振り返り）

・ 次は○○さんの方法でチャレンジ問題をしたいと思いました。

・ ○○のやり方がはじめてわかりました。

○ 具体物を使用したり図に表しながら考えを作ったりしことで同数のまとまりをとらえ「○○のいくつ分」を求める場面であることを意識しながら学ぶ子どもの姿があった。また前時との比較活動で動機付けを行うことで、見通しをもって学習に取り組むことができた。

● 乗数が1増えるごとに積は被乗数だけ増えるという性質を理解していく場面では自己調整学習をすぐに仕組むのではなくもっと丁寧に性質を理解していく必要があった。（3のだんでは・・・）

● チャレンジ問題の工夫